

# 「癒やしの里“桜井”」推進アクションプラン

桜 井 市

令和5年3月

# 目次

---

## 第1部 はじめに

1. アクションプランの位置づけ .....	1
2. アクションプランの考え方と目標 .....	2
2-1. 目指すべき将来像 .....	2
2-2. 計画期間 .....	2
2-3. 成果指標 .....	2
3. 基本方針・施策体系図 .....	3
3-1. 基本方針 .....	3
3-2. 施策体系 .....	4
4. 重点プロジェクト（観光C Iを確立する「癒やす観光」プロモーション） .....	5
4-1. 訴求・整備するコンテンツ及び事業 .....	5
4-2. プロモーションについて .....	5
5. 社会動向・機会への対策 .....	6
5-1. ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進 .....	6
5-2. 観光デジタル化の推進 .....	7
5-3. 新たな観光トレンドへの対応 .....	8
5-4. 記念事業との連携 .....	9
6. アクションプラン（推進体制構築） .....	10
6-1. 推進体制の構築 .....	10
6-2. アクションプランの見直し .....	10

## 第2部 アクションプラン（事務事業）

7. アクションプラン（事務事業） .....	11
7-1. 施策・事務事業体系 .....	11
7-2. 事務事業 .....	13

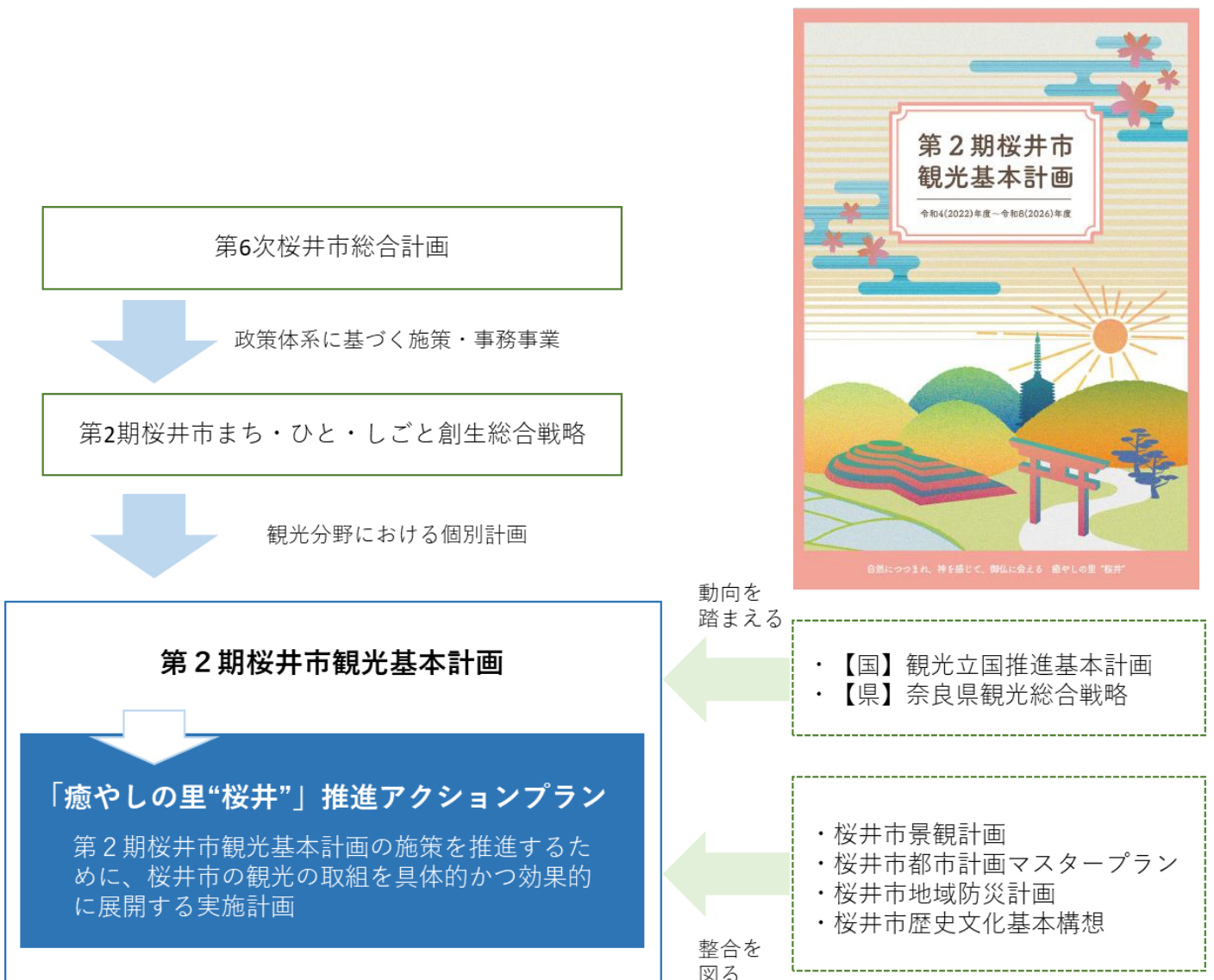
## 第1部 はじめに

# 1. アクションプランの位置づけ

令和3年度に策定した「第2期桜井市観光基本計画（以下、「観光基本計画」という。）」は、桜井市の最上位計画である「第6次桜井市総合計画」の観光分野における個別計画として位置づけられ、「自然につつまれ、神を感じて、御仏に会える癒やしの里“桜井”」を目指すべき将来像に掲げ、その将来像を実現するための5つの基本方針と13の取組項目（以下「施策」という。）を定めています。

この施策を推進するために、桜井市の観光の取り組みを具体的かつ効果的に展開する実施計画として「癒やしの里“桜井”」推進アクションプラン（以下、「アクションプラン」という。）を定めます。

なお、今後、市の関連計画の改訂や財政状況また、国内外の政治・経済の環境変化による新たに生まれてくる観光のニーズに対応できるよう、社会情勢に応じて見直しを行うこととします。



## 2. アクションプランの考え方と目標

### 2-1. 目指すべき将来像

【桜井市観光の将来像】

### 自然につつまれ、神を感じて、 御仏に会える癒やしの里“桜井”

古代の日本＝大和の国の中心地として選ばれた、文化に裏付けられた自然。  
古事記や日本書紀にも記された、日本最古の神社のご神体「三輪山」に鎮まる国造りの神。  
市内の多くの御寺におわす、国宝として指定された観音菩薩に代表される御仏。  
桜井市は古代より続く自然の姿と信仰、歴史や食文化といった人々を癒やす資源を有しています。  
“モノ”から“コト”を重視する流れの中で、これらの個性は国内外から人々をひきつけることから、  
桜井市ならではの「癒やしの里」をテーマにしたオンリーワンの地域創造を展開します。

### 2-2. 計画期間

本アクションプランの計画期間は、観光基本計画に準拠し、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

### 2-3. 成果指標

「癒やしの里“桜井”」を推進し、地域愛を深めた「繋がる観光」の展開状況を図る成果指標として、「癒やしの里“桜井”PR事業累計数※<sup>1</sup>」を計画終了年度の令和8年度には20件に、「桜井ファンの数※<sup>2</sup>」を令和2年度が2,450千人から4,632千人に、地域経済活性化の達成度を測る成果指標として「観光消費額※<sup>3</sup>」を75億円から150億円にすることを目標とします。

※1：計画期間内に実施した癒やしの里“桜井”をPRするための事業を累計した数

※2：桜井市への観光客入込客数の中で、特に観光を目的として来られている方や、イベント参加者、SNSフォロワー、ふるさと納税者数等を加えた人数

※3：観光消費額⇒観光消費算出対象者数（a）×観光客消費単価（b）

（a）桜井市への観光客入込客数の中で特に観光を目的として来られている方の人数 （b）奈良県が実施する観光パラメータ調査の結果を市内特性で補正して算出（各指標の詳細な算出方法・数値根拠は第2期桜井市観光基本計画参照）

### 3. 基本方針・施策体系

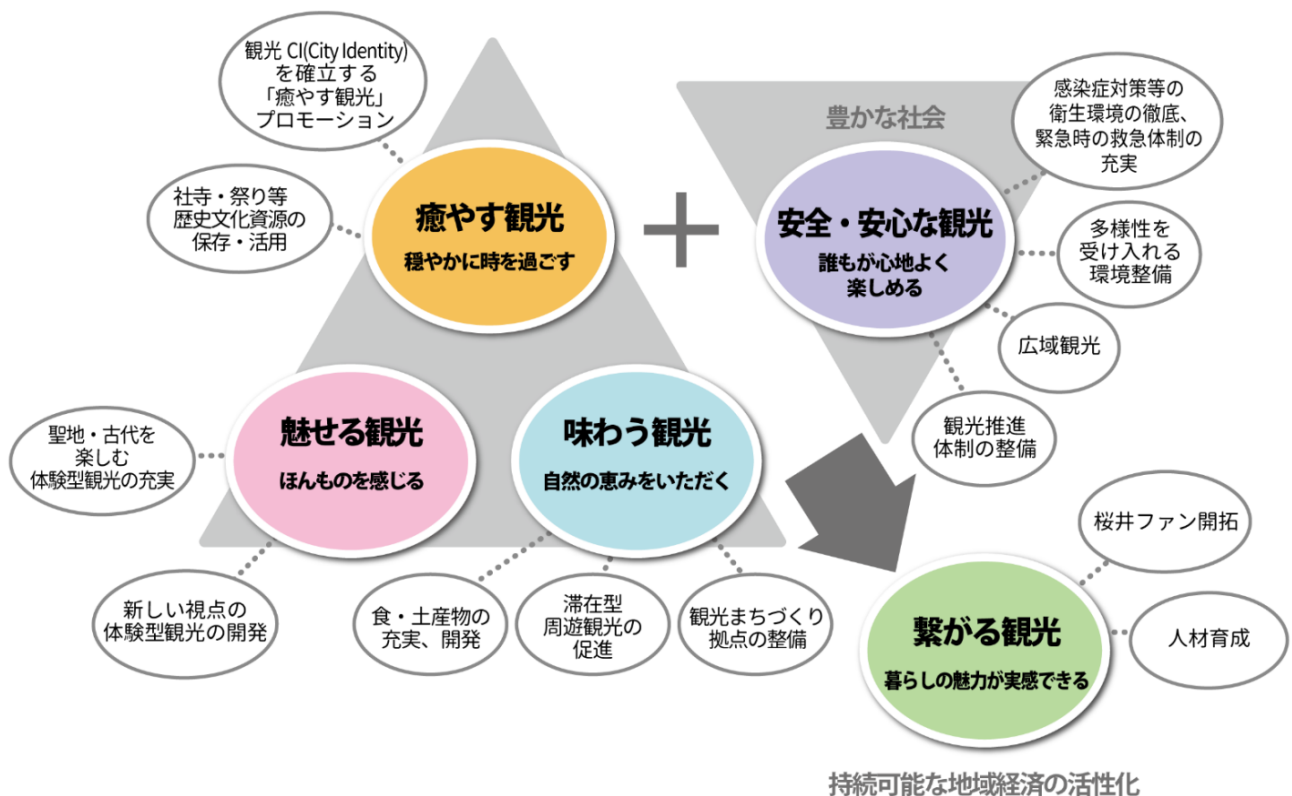
#### 3-1. 基本方針

「癒やしの里」として心を豊かにする「癒やす」「魅せる」「味わう」観光を展開するとともに、市民、事業者、行政が一体となって多様性に富んだ安全・安心に観光できる「豊かな社会基盤」を形成します。

これにより、市民はもとより多くの人々が「桜井ファン」となって市内各所で多様な活動を展開する「繋がる」観光を盛んにして、持続可能な地域経済の活性化につなげます。

(なお、全ての取り組みはSDGs（持続可能な開発目標）の達成につながる取り組みとします。)

#### ■目指すべき将来像に基づく基本方針と施策



### 3-2. 施策体系

将来像	基本方針	施策	大事業
自然につつまれ、神を感じて、御仏に会える癒やしの里“桜井”	【1】 癒やす観光 「穏やかに時を過ごす」	(1) 観光CI (City Identity) を確立する「癒やす観光」プロモーション	①既存の「癒やす観光」コンテンツを整理 ②新規の「癒やす観光」コンテンツ造成の促進 ③「癒やす観光」のPR展開 ④「癒やす観光」PRの総括イベントの実施
		(2) 社寺・祭り等歴史文化資源の保存・活用	①地域の文化の保護・継承の取り組み ②纏向遺跡の整備・保存・活用 ③文化財の保護、歴史的風土や景観の保全・修復
	【2】 魅せる観光 「ほんものを感じる」	(1) 聖地・古代を楽しむ体験型観光の充実	①山の辺の道を核とした着地型観光の推進 ②専門性の高い体験型観光コンテンツの開発
		(2) 新しい視点の観光体験の開発	①新たな体験型観光コンテンツの検討・造成
	【3】 味わう観光 「自然の恵みをいただく」	(1) 食・土産物の充実、開発	①特産品の開発及び特産品を活用した誘客促進 ②農産品の開発補助・啓発 ③三輪そうめんの啓発 ④ふるさと納税の推進
		(2) 滞在型周遊観光の推進	①滞在型観光の推進 ②周遊観光の推進
		(3) 観光まちづくり拠点の整備	①桜井駅周辺地区のまちづくり ②長谷寺門前町周辺地区のまちづくり ③大神神社参道周辺地区のまちづくり
	【4】 安全・安心な観光 「誰もが安らかに楽しめる」	(1) 感染症対策等の衛生環境の徹底、緊急時の救急体制の充実	①感染症対策等の衛生環境の徹底 ②緊急時の救急体制の充実
		(2) 多様性を受け入れる環境整備	①利便性向上のための環境整備 ②外国人観光客に対応した環境の整備 ③快適に観光を楽しむことができる観光案内
		(3) 広域観光	①世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会事業 ②市外団体との各種連携事業 ③奈良県との観光連携事業
		(4) 観光推進体制の整備・充実	①(一社)桜井市観光協会との連携 ②桜井市観光ボランティアガイドの会との連携 ③桜井観光案内所の運営 ④初瀬観光センターの運営
	【5】 繋がる観光 「暮らしの魅力が実感できる」	(1) 桜井ファン開拓	①桜井ファン開拓のための情報発信 ②桜井市マスコットキャラクター「ひみこちゃん」の活用 ③マスメディアを活用した効果的な情報発信 ④観光DXの推進
		(2) 人材育成	①観光人材の育成 ②観光関連団体及び事業者との連携強化

## 4. 重点プロジェクト（観光CIを確立する「癒やす観光」プロモーション）

「癒やす観光」は桜井観光のシティアイデンティティとし、「癒やしの里“桜井”」のプロモーション事業の展開を推進し、オンリーワンの地域特性を活かし地域愛を深めた「繋がる観光」を展開するうえで最も重視すべきであると考えられるため、重点プロジェクトとして位置づけます。

### 4-1. 訴求・整備するコンテンツ及び事業

令和4年度から新たな桜井市の観光方針として設定する「癒やす観光」を推進するにあたり、市内各地の魅力を今までと違った観点から提案し、さらなる訪問、滞在及び周遊を促すための「癒やす観光」コンテンツの開発支援や整備等に取り組みます。

「癒やし」をテーマに時代のニーズに対応した新たな旅のスタイルの提案や「癒やしの里“桜井”」の背景・ストーリーを伝え桜井の地域の特色が含まれるコンテンツの造成を推進します。

令和4年度にはコンテンツの造成にあたる準備段階として「癒やし」に着目した既存資源の分類・整理を行い、強い集客につながる観光コンテンツの洗い出しを実施しました。



長谷寺 朝の勤行

### 4-2. プロモーションについて

「癒やしの里“桜井”」の知名度向上のためのプロモーションを優先的に行っていきます。観光DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を通じて、持続可能な観光地づくりの実現を目指し、新聞・テレビといったマスメディアとの連携だけでなく、近年特に重要視されているSNS等のソーシャルメディアやアプリ等を活用した観光デジタル化を推進し、効率的・効果的な情報発信を実施します。また、桜井市への観光客だけでなく、地域と関わりのある方やSNSフォロワーなど、桜井ファンを増加させる「基本方針5 繋がる観光」との連動を目指します。

令和4年度には「癒やしの里“桜井”」についての市内事業者等へのアンケートと市外からの参加者募集によるモニターツアー及びSNSにおける情報発信を実施しました。



## 5. 社会動向・機会への対策

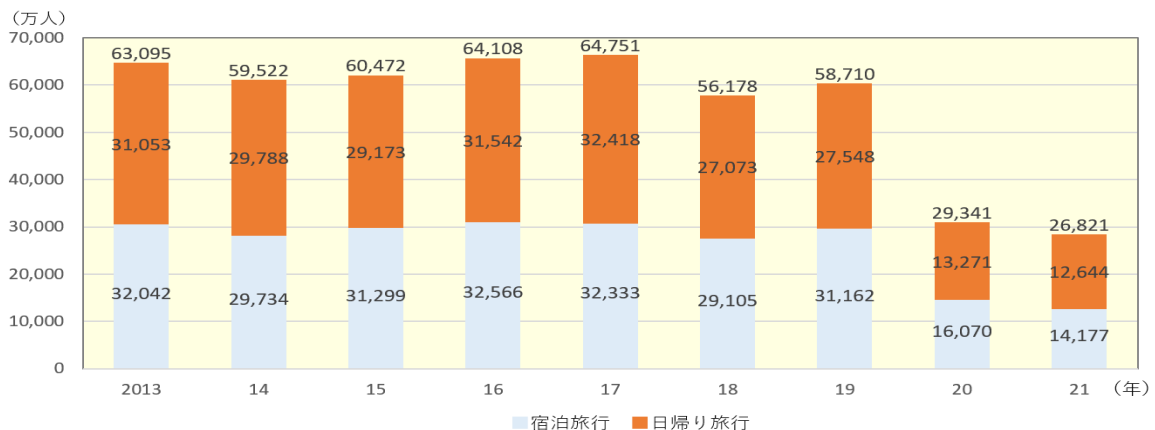
### 5-1. ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進

2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により観光を取り巻く環境は大きく変化し、観光需要は大幅に減少しました。特に外出や移動の自由が制限されたことの影響もあり、観光需要は日々刻々と変化しています。

ウィズコロナ最初期における観光トレンドとして日本人の旅行者は、密となりやすい主要観光地や都市圏を避けた近隣地域内での観光（いわゆるマイクロツーリズム）の進展や混雑する時期を回避する傾向などが見られましたが、令和4年12月時点では政府が主導するGo toトラベルキャンペーンや全国旅行支援の効果もあり割引率が高い旅行先に集中する傾向もみられます。また、訪日外国人旅行者は、政府がコロナの水際対策を大幅緩和した昨年10月以降、円安等の追い風もあり急増しています。

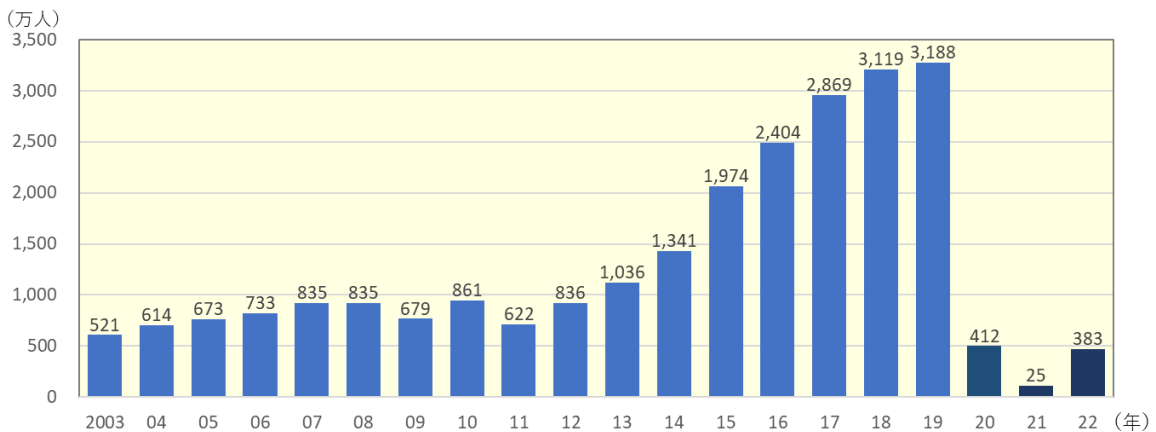
このことから、円安やウクライナ侵攻等の影響などによる物価高等も含めた変化する社会動向を的確に捉え、需要に合った観光推進を実施します。

#### ■日本人国内延べ旅行者数（うち宿泊旅行及び国内日帰り旅行延べ旅行者数）の推移



※出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

#### ■訪日外国人旅行者の推移



※出典：日本政府観光局（JNTO）

## 5-2. 観光デジタル化の推進

旅行という非日常の体験の魅力をデジタルの力でさらに高め、観光客や地域をより豊かにするとともに、利便性向上や観光産業における生産性向上等及び地域間・観光事業者間の連携を通じた地域活性化や持続可能な経済社会の実現を目指した観光DX事業が全国各地で推進されています。

桜井市においても観光スマートフォンアプリやSNS等のソーシャルメディアを制作・活用し、データの分析・利活用により観光客に対する利便性の向上による消費機会の拡大、及び非接触・シームレスな観光デジタル化を推進します。

観光客の情報収集にあたっては、検索サイトや旅行情報・口コミサイトやアプリ等のデジタル媒体が主に活用されていることに着目し、桜井市においてもSNSやホームページ、アプリ等を活用しそれぞれの特性に応じた効果的な情報発信を実施します。また、「旅マエ」の情報収集だけではなく「旅ナカ」及び「旅アト」それぞれに合わせた発信を行うことで継続的な情報発信を実施します。

■国内旅行の実施にあたり、旅行の計画を立てる際にどのように情報収集しましたか。※複数回答

	検索エンジン (Google, Yahoo!など)	インターネットの 宿泊施設のHP	インターネットの 旅行専門サイト	SNS (Instagram, Facebook など) やYouTube、動画投稿 サイト (YouTubeなど)	家族や友人・知人	旅行ガイドブック	観光施設のHP	旅行雑誌	観光協会や自治体のHP	旅行会社のHP	旅行会社のパンフレット	観光パンフレット	旅行先の観光協会、宿泊 施設などに問い合わせ	旅行会社に問い合わせ (電話やメールなど)	その他	自分で情報収集しない	
全体 (n=1,448)	51.7	27.5	20.9	15.3	14.3	13.5	10.4	10.2	10.1	8.1	7.5	7.3	4.4	2.3	2.0	2.1	10.2
全体 (n=735)	56.2	26.5	23.4	10.6	13.5	15.5	11.7	12.7	11.0	9.5	6.7	7.5	5.2	2.0	2.3	2.3	7.3
男性																	
Z世代 (n=43)	51.2	9.3	27.9	37.2	20.9	7.0	11.6	4.7	4.7	9.3	9.3	2.3	4.7	2.3	2.3	2.3	9.3
ミレニアル世代 (n=196)	55.6	21.4	25.5	13.8	18.4	18.9	12.8	15.8	6.6	11.7	6.6	9.2	7.7	4.1	5.1	1.0	6.6
X世代以上 (n=495)	56.8	29.9	22.0	6.9	10.9	14.7	11.1	12.1	13.1	8.5	6.3	7.3	4.2	1.2	1.2	2.8	7.5
女性																	
全体 (n=713)	47.1	28.5	18.2	20.1	15.1	11.5	9.1	7.6	9.1	6.7	8.4	7.0	3.5	2.5	1.7	2.0	13.0
Z世代 (n=46)	43.5	13.0	4.3	47.8	19.6	19.6	10.9	13.0	8.7	8.7	4.3	13.0	8.7	2.2	0.0	0.0	10.9
ミレニアル世代 (n=170)	48.8	20.0	14.1	46.5	18.8	12.4	6.5	10.0	5.9	4.7	12.9	4.1	2.9	1.2	2.4	1.2	12.9
X世代以上 (n=496)	46.8	32.7	20.8	8.3	13.5	10.5	9.9	6.3	10.3	7.3	7.3	7.5	3.2	3.0	1.6	2.4	13.3

Z世代：19-25歳、ミレニアル世代：26-41歳、X世代以上：42歳以上

※資料：国内旅行におけるSNSと写真に対する意識／実態（公益財団法人日本交通公社2022年）

また、AR（オーグメンテッド・リアリティ「拡張現実」）やVR（バーチャル・リアリティ「仮想現実」）等の先端技術を活用し、遺跡・古墳群や神社仏閣などについて新たな価値をより具体的に訴求することで誘客促進と現地での魅力理解促進を図ります。



観光客に対する消費機会の拡大や観光客の消費単価の向上及び利便性や満足度の向上を目指し、アプリ等を活用した情報発信及びデータの蓄積、データを活用した効果的な展開を行うことでより効率よくサービス展開を行う観光DXを推進します。

### 5-3. 新たな観光トレンドへの対応

デジタル化や社会構造の変化等により、個人の価値観やライフスタイルは多様化し、観光・旅行のあり方は、近年大きく変化しています。

名所・旧跡を巡るような従来型の観光スタイルはなくなりませんが、個人の価値観や志向がより強く反映される旅行のあり方へと変容しつつあります。特に若い世代は旅先で生活エリアでの地元の人との交流を望み、上の世代は知的好奇心を埋めるような観光の場を求める傾向にあると考えられます。また、スマートフォン及びSNSの普及により、人々の行動は広がり、SNS等を通じた情報の取得だけでなく、発信における個人の力が強まっているため、個人の発信する情報も地域のブランドイメージの形成に重要な位置を占めるようになってきています。

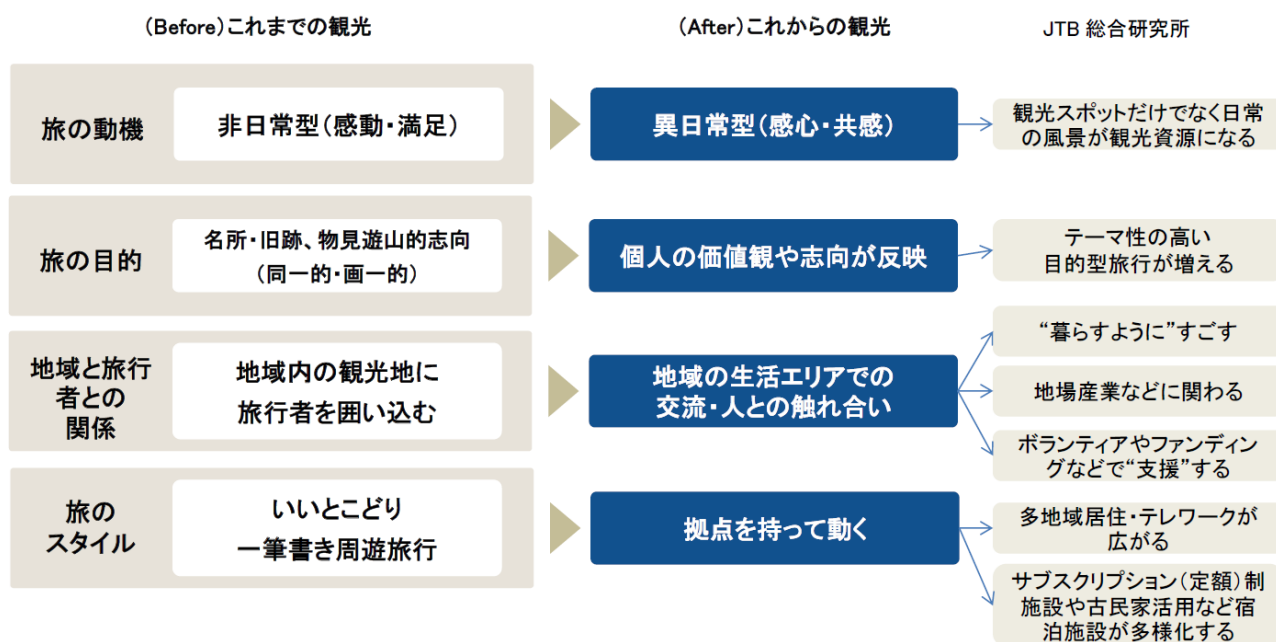
政府は、働き方改革や新型コロナウイルス感染症の影響による人々の価値観や行動の変化、旅行ニーズを踏まえて「新たな旅のスタイル」としてワーケーション<sup>※1</sup>や第2のふるさとづくり（何度も地域に通う旅、帰る旅）等を推進し、また、世界的な観光の持続可能性への関心の高まりから、持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）<sup>※2</sup>の実現へ繋がる取り組みが活発化しています。

桜井市では、これらの観光トレンドや旅行需要の拡大を意識した観光戦略を推進します。

※1 ワーケーション：Work（仕事）とVacation（休暇）を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事しつつ、自分の時間を過ごすこと。

※2 持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）：訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適応しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光。持続可能な観光を実現するには、「環境」、「社会文化」、「経済」の3領域の適切なバランスが求められる。（UNWTO）※資料：日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTSD）付録

#### ■変わる観光の志向とツーリズム領域の拡大

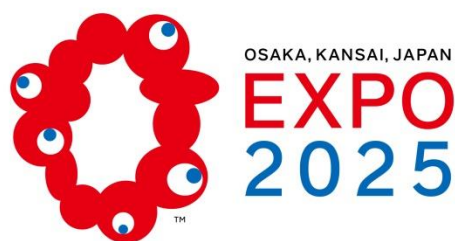


※資料：進化し領域を拡大する日本人の国内旅行（JTB総合研究所2019年）

## 5-4. 記念事業との連携

令和7年4月13日から10月13日まで2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」という。）が夢洲（大阪府大阪市）にて開催されます。「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマは、人間一人一人が、自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、国際社会が共創していくことを推し進めるものです。桜井市の観光推進においては大阪・関西万博を国内・外国人観光客受け入れの重要な機会と捉え、インバウンドを含めた積極的なプロモーションとコンテンツの整備を行います。

MEET ME AT  
EXPO 2025!



また、日本国家のはじまりを示す資産であるとともに、古代日本で国際交流があったことを示す貴重な資産である「飛鳥・藤原」については奈良県、橿原市、明日香村と世界遺産登録を目指しています。桜井市では「山田寺跡」が構成資産候補に含まれていることから、登録にあたる機会を活かす積極的なプロモーションとコンテンツの整備を実施します。



飛鳥・藤原  
Asuka-Fujiwara



令和8年には桜井市は市制70周年を迎えます。観光基本計画の計画年度最終年となる同年に合わせて「癒やしの里“桜井”」PRの総括イベントとして、誘客イベントを実施します。



## 6. アクションプラン（推進体制構築）

### 6-1. 推進体制の構築

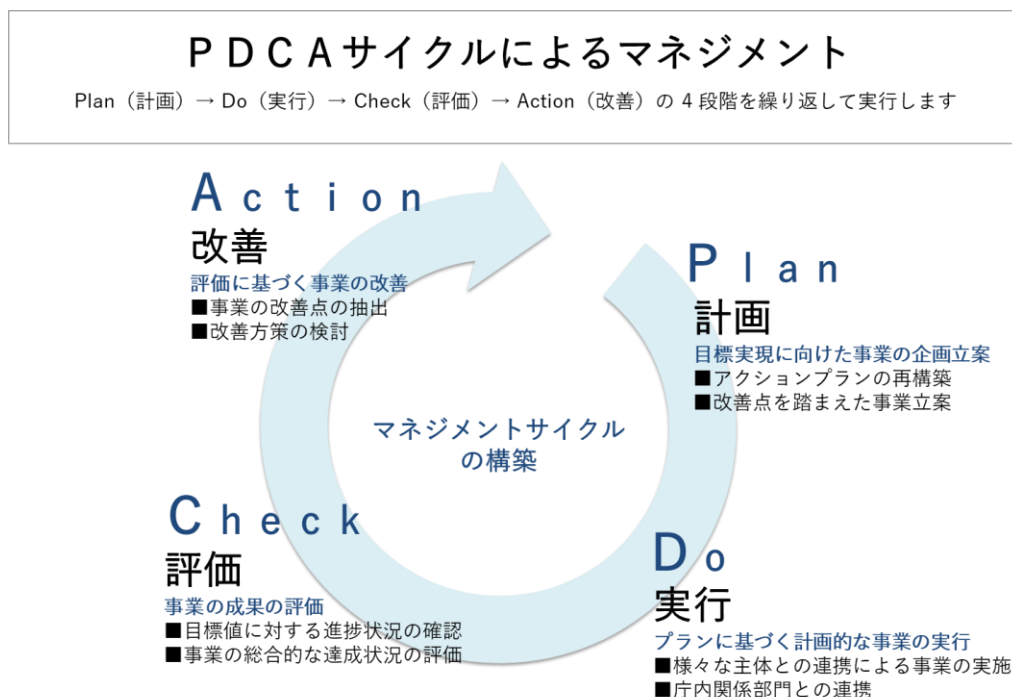
桜井市観光まちづくり課が中心となり、目標達成に向けて関係課・部局と連携・協力し取り組みを推進します。また、これまで様々な事業において協力関係を築いてきた市内の事業者、市民、地域活動団体、市内産業に関わる様々な関係者と連携・協働し、事業推進の体制・仕組み作りを推進します。そして、桜井ファン（関係人口）の増加により持続的に発展する観光振興を促進します。

事業の進行管理にあたっては、アクションプランに基づき、毎年度の事業内容を企画（Plan）し、関係課・部局及び事業者をはじめ様々な関係者との連携のもとで事業を実行（Do）します。

また、事業実施による成果については、目標指標の達成状況や事業目的に照らして評価（Check）し、目標指標や目的の達成状況が十分でない事業については、改善（Action）の方策を検討し、さらに次年度事業の立案に反映します。

上記のPDCAマネジメントサイクルに基づくマネジメントを徹底し、事業の効率性や実効性を高めます。

#### ■事業の進行管理イメージ



### 6-2. アクションプランの見直し

桜井市観光事業を取り巻く環境の変化等により、事業の必要性やその内容などの見直しが必要となることも想定されるため、本アクションプランに示した事業を点検し、事業継続の可否や内容の再検討を行い、必要に応じて事業の変更や新規事業の創設を行うものとします。



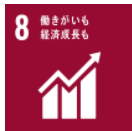
## 第2部 アクションプラン（事務事業）について

# 7. アクションプラン（事務事業）

## 7-1. 施策・事務事業体系

基本方針	施策	大事業	事務事業
「1」癒やす観光 「穏やかに時を過ごす」	(1) 観光CI (City Identity) を確立する「癒やす観光」プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>①既存の「癒やす観光」コンテンツを整理</li> <li>②新規の「癒やす観光」コンテンツ造成の促進</li> <li>③「癒やす観光」のPR展開</li> <li>④「癒やす観光」PRの総括イベントの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第2期観光基本計画推進事業</li> <li>■ 「癒やす観光」コンテンツ造成促進事業</li> <li>■ 周遊観光アプリを活用したプロモーション</li> <li>■ 「癒やす観光」PR事業</li> <li>■ 「癒やしの里“桜井”」記念事業</li> </ul>
	(2) 社寺・祭り等歴史文化資源の保存・活用	①地域の文化の保護・継承の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域に根差した祭り等の保存・継承支援</li> <li>■ 大和さくらい万葉まつり支援事業</li> <li>■ 土舞台顕彰・保存支援事業</li> </ul>
		②纏向遺跡の整備・保存・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 史跡纏向遺跡整備事業</li> </ul>
(2) 社寺・祭り等歴史文化資源の保存・活用	③文化財の保護、歴史的風土や景観の保全・修復	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内文化財保存整備事業</li> <li>■ 埋蔵文化財センター運営事業</li> <li>■ 自然的景観の保存・風致の維持</li> <li>■ 万葉歌碑の啓発</li> </ul>	
	③文化財の保護、歴史的風土や景観の保全・修復	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 山の辺の道美化促進協議会</li> <li>■ 山の辺の道地域戦略会議</li> <li>■ 万葉歌碑魅力発信事業</li> <li>■ 「癒やす観光」コンテンツ造成促進事業【再掲】</li> </ul>	
「2」魅せる観光 「ほんものを感じる」	(1) 聖地・古代を楽しむ体験型観光の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>①山の辺の道を核とした着地型観光の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 山の辺の道美化促進協議会</li> <li>■ 山の辺の道地域戦略会議</li> <li>■ 万葉歌碑魅力発信事業</li> <li>■ 「癒やす観光」コンテンツ造成促進事業【再掲】</li> </ul>
	(2) 新しい視点の体験型観光の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>②専門性の高い体験型観光コンテンツの開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 歴史文化に特化したコンテンツ実施支援（歴史・文化・考古学・自然等）</li> </ul>
「3」味わう観光 「自然の恵みをいただく」	(1) 食・土産物の充実、開発	①特産品の開発及び特産品を活用した誘客促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 桜井市地域ブランド認定推進事業</li> <li>■ 商店街活性化事業</li> <li>■ 桜井市場～ん補助事業</li> <li>■ 桜井駅南地区の社会実験（駅前マルシェ）</li> <li>■ 伴走型小規模事業者支援推進事業</li> </ul>
		②農産品の開発補助・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農産品の開発補助</li> <li>■ ガストロノミーツーリズム創生事業</li> </ul>
		③三輪そうめんの啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 三輪そうめん啓発事業</li> </ul>
		④ふるさと納税の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ふるさと寄附金事業</li> </ul>
	(2) 滞在型周遊観光の推進	①滞在型観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ホテル及び旅館の誘致事業</li> <li>■ テレワーク等推進事業</li> <li>■ 市内宿泊事業者との連携事業</li> </ul>
		②周遊観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域公共交通の二次交通としての活用</li> <li>■ サイクルツーリズム推進事業</li> <li>■ 二次交通の検討</li> <li>■ 古道紀行発行</li> <li>■ まほろばセンター運営事業</li> </ul>
	(3) 観光まちづくり拠点の整備	①桜井駅周辺地区のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 桜井駅周辺地区まちづくり事業</li> </ul>
		②長谷寺門前町周辺地区のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長谷寺門前町周辺地区まちづくり事業</li> </ul>
		③大神神社参道周辺地区のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大神神社参道周辺地区まちづくり事業</li> </ul>





各事業は、持続可能な開発目標（SDGs）のうち左の5つのゴールとの関係性を意識しながら取り組みます。（詳細は観光基本計画を参照）


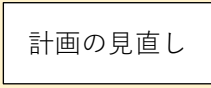




基本方針	施策	大事業	事務事業	
「 <b>【4】安全・安心な観光</b> 誰もが心地よく楽しめる」	(1) 感染症対策等の衛生環境の徹底、緊急時の救急体制の充実	①感染症対策等の衛生環境の徹底	■ 感染症対策済み（備品等配布）の施設に関する情報発信	
		②緊急時の救急体制の充実	■ 観光関係事業者を対象とした桜井市ハザードマップの情報周知及び防災研修の実施	
	(2) 多様性を受け入れる環境整備	①利便性向上のための環境整備	■ 東海自然歩道（山の辺の道）整備事業 ■ 観光トイレ整備事業 ■ 街なみ環境整備事業 ■ 修景支援事業 ■ 道路整備事業	
		②外国人観光客に対応した環境の整備	■ インバウンド関連事業	
		③快適に観光を楽しむことができる観光案内	■ 道標・案内板整備事業	
	(3) 広域観光	①世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会事業	■ 世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会事業	
		②市外団体との各種連携事業	■ 市外団体との広域連携事業	
		③奈良県との観光連携事業	■ 奈良県との観光連携事業	
	(4) 観光推進体制の整備・充実	①（一社）桜井市観光協会との連携	■ （一社）桜井市観光協会との連携事業	
		②桜井市観光ボランティアガイドの会との連携	■ 桜井市観光ボランティアガイドの会との連携事業	
		③桜井観光案内所の運営	■ 桜井観光案内所の運営事業	
		④初瀬観光センターの運営	■ 初瀬観光センターの運営事業	
	「 <b>【5】繋がる観光</b> 暮らしの魅力が実感できる」	(1) 桜井ファン開拓	①桜井ファン開拓のための情報発信	■ 市内文化財の情報発信事業 ■ 桜井市制70周年記念事業 ■ 歴史文化に特化したコンテンツ実施支援（歴史・文化・考古学・自然等）【再掲】
			②桜井市マスコットキャラクター「ひみこちゃん」の活用	■ 桜井市マスコットキャラクター「ひみこちゃん」を活用した情報発信事業
			③マスメディアを活用した効果的な情報発信	■ 大和さくらいフィルムコミッション事業
			④観光DXの推進	■ ホームページ・SNSを通じた観光情報発信事業 ■ SNSを活用した観光アンバサダーによる魅力発信 ■ イベントカレンダーによる情報発信
(2) 人材育成		①観光人材の育成	■ 地域観光事業支援事業 ■ 桜井市創業支援等事業計画に基づく創業者支援事業 ■ 高度なガイドの育成	
		②観光関連団体及び事業者との連携強化	■ おもてなし仕組みづくり協議会事業	







## 7-2. 事務事業





### 基本方針1 穏やかに時を過ごす癒やす観光


施策	<p>(1) 観光CI (City Identity) を確立する「癒やす観光」プロモーション <b>★重点施策</b></p> <p>令和4年度から新たな桜井市の観光方針として設定する「癒やす観光」を推進するため、本施策を第2期桜井市観光基本計画の重点施策とし、「癒やす観光」プロモーションを優先的に行っていきます。</p> <p>具体的には、既存の「癒やす観光」コンテンツの整理、新規の「癒やす観光」コンテンツの開発支援、さらに「癒やしの里“桜井”」の知名度向上のためのプロモーションに取り組みます。</p>
----	--





大事業	<p>①既存の「癒やす観光」コンテンツの整理</p> <p>②新規の「癒やす観光」コンテンツ造成の促進</p> <p>③「癒やす観光」のPR展開</p> <p>④「癒やす観光」PRの総括イベントの実施</p>
-----	--

事業名	第2期観光基本計画推進事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	第2期桜井市観光基本計画で設定した将来像「自然につつまれ、神を感じて、御仏に会える癒やしの里“桜井”」の実現を目指し、「癒やし」をテーマにウィズコロナ・アフターコロナ時代の観光の形態、ニーズ等を捉え、桜井市の観光の取り組みを具体的かつ効果的に展開する実行計画を示す「癒やしの里“桜井”」推進アクションプランを策定し、事業を展開する。なお、年度毎に本アクションプランに示した事業を点検し、事業継続の可否や内容の再検討を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	 アクションプランの策定	 事業評価及び計画変更			
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進、観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応、記念事業との連携				
活動指標	①観光消費額				
数値目標	①150億円				
SDGs	    				

事業名	<b>「癒やす観光」コンテンツ造成促進事業</b> ◎既存の「癒やす観光」コンテンツの整理 ◎「癒やす観光」コンテンツ造成支援事業 ◎「癒やす観光」コンテンツ磨き上げ・販売促進支援事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	市内周遊を促す取り組みの一環で、市内各地の魅力を「癒やし」の観点から既存コンテンツの整理をし、強い集客につながるコンテンツを整理する。「癒やしの里“桜井”」に関連する観光コンテンツ充実のため、新規コンテンツ造成や既存コンテンツの高付加価値化に要する経費の一部を支援する。また、あわせてコンテンツの磨き上げや販売促進の支援を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	 既存コンテンツの整理	 コンテンツの造成・磨き上げ及び販売促進の支援			
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進、観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応、記念事業との連携				
活動指標	①新規造成・磨き上げコンテンツ数（累計） ②観光アプリ掲載コンテンツ数（累計）				
数値目標	①20個 ②100個				
SDGs	   				



事業名	<b>周遊観光アプリを活用したプロモーション</b> ◎周遊観光アプリ制作事業 ◎アプリを活用したプロモーション事業				
担当課	<b>観光まちづくり課</b>				
事業内容	旅マエや旅ナカ観光における情報取得・共有及び周遊促進を目的とした「癒やしの里“桜井”」周遊観光アプリを開発し、アプリを活用して観光客に市内周遊をしてもらう周遊促進キャンペーン等や観光コンテンツのPR等を行う。また、アプリ内コンテンツの充実を図るため必要に応じて機能拡張を検討する。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	検討	実施	実施		
	アプリ制作		プロモーション及びアプリ機能の拡充		
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進、観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応、記念事業との連携				
活動指標	①アプリ利用登録者数（累計）				
数値目標	①1,000人				
SDGs	   				


事業名	「癒やす観光」PR事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>「癒やしの里“桜井”」を共通テーマに掲げ、来訪を促す各種プロモーションを展開する。又、大阪・関西万博等今後増加が見込まれるインバウンドへのプロモーションも行う。なお、実施にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響に左右されない手法を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「癒やしの里“桜井”」PRイベントの実施及び各種出展等</li> <li>・旅行事業者向け展示会等への参加</li> <li>・デジタルマーケティング及びWEB、SNSを活用したPRの実施</li> <li>・既存コンテンツのPR</li> </ul>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施 				
機会への対策	観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応、記念事業との連携				
活動指標	①「癒やしの里“桜井”」PR事業数（累計） ②桜井ファンの数（累計）				
数値目標	①20件 ②4,632千人				
SDGs	   				

事業名	「癒やしの里“桜井”」記念事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	第2期観光基本計画期間の最終年度であり、桜井市の市制施行70周年を迎える令和8年度に「癒やしの里“桜井”」PRの総括として誘客イベントを実施する。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			検討		実施
機会への対策	観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応、記念事業との連携				
活動指標	①記念イベント開催数（累計）				
数値目標	①1回				
SDGs					

施策	<p><b>(2) 社寺・祭り等歴史文化資源の保存・活用</b></p> <p>社寺や歴史資源の保存と価値向上及び活用を推進するとともに、祭礼・行事等を継承します。</p>
----	--

大事業	<b>①地域の文化の保護・継承の取り組み</b>
-----	--------------------------



事業名	<b>地域に根差した祭り等の保存・継承支援</b>				
担当課	<b>観光まちづくり課</b>				
事業内容	社寺単位の祭事や地域に根差した市民によるお祭りなどの伝統行事を保護するための支援を行うほか、情報発信等の文化の継承に繋がる取り組みを行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
機会への対策	実施 				
活動指標	①支援件数（累計）				
数値目標	①3件				
SDGs					

事業名	大和さくらい万葉まつり支援事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	桜井青年会議所をはじめとした市内各種団体が連携して、「ものの豊かさより心の豊かさ」をコンセプトに1975年から開催されている「大和さくらい万葉まつり」の開催支援、情報発信等を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①実行委員会開催回数（年間） ②実行委員会参画団体数（年間）				
数値目標	①6回 ②65団体				
SDGs					


事業名	土舞台顕彰・保存支援事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	日本最初の国立劇場であり、芸能発祥の地である「土舞台」の保存・継承を目的として活動する土舞台顕彰会の活動に対し支援等を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①関連イベント数（年間）				
数値目標	①1回				
SDGs					





大事業	②纏向遺跡の整備・保存・活用
-----	----------------



事業名	<b>史跡纏向遺跡整備事業</b> ◎纏向遺跡・纏向古墳群公有化事業				
担当課	文化財課				
事業内容	古墳時代前期の大規模な集落遺跡である纏向遺跡は、わが国における古代国家形成期の状況を知る上で極めて重要な歴史文化資源であり、平成25年には国の史跡に指定されている。その纏向遺跡を将来にわたって保護し、より多くの方々に魅力を体感していただくことを目的として、史跡の公有化と活用拠点としてのガイダンス施設や史跡公園の整備を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施 				
機会への対策					
活動指標	①史跡の追加指定				
数値目標	①1件				
SDGs	 11 住み続けられるまちづくりを				

大事業	③文化財の保護、歴史的風土や景観の保全・修復
-----	------------------------

事業名	市内文化財保存整備事業				
担当課	文化財課				
事業内容	市内に分布する文化財の調査を通して実態の把握に努めるとともに、文化財の指定等を行なうことにより文化財の保存活用に努める。また指定文化財に必要な修理等に対し、所有者への補助を行なうことによって、更なる文化財の保護啓発を図っていく。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①管理対象史跡数				
数値目標	①9件				
SDGs					

事業名	埋蔵文化財センター運営事業				
担当課	文化財課				
事業内容	埋蔵文化財の調査や保存・活用を行っている埋蔵文化財センターでは、発掘調査の成果をもとに展示や講演会、体験講座等を開催し、文化財の普及と啓発を目指し、全国各地から訪れてもらえるよう魅力ある情報発信の推進を図る。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①埋蔵文化財センター開館日数				
数値目標	①250日				
SDGs					




事業名	自然的景観の保存・風致の維持				
担当課	都市計画課				
事業内容	良好な自然的景観の保全を図るため、風致地区内（三輪山之辺地区、磐余地区、鳥見山地区）において、建築物、工作物の新築、建築物の色彩の変更、宅地の造成、木竹の伐採等の行為をしようとするときは、桜井市風致地区条例に基づきあらかじめ市長の許可が必要である。また、その行為に対して、高さ、建ぺい率、部材、色彩、緑地率等に一定の制限を設けており、申請を適正に受理する。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①許可件数（年間）				
数値目標	①4件				
SDGs					



事業名	万葉歌碑の啓発				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	「記紀万葉のふるさと 桜井市」のPRを目的とし、市内に点在する万葉歌碑の保全、案内サインの設置、パンフレットやホームページを通じた情報発信や万葉歌碑パネルの貸出しを行う。また、小中学校における学習会等により、歴史・文化資源に関する市民の知識・意識向上を図る。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	観光デジタル化の推進、記念事業との連携				
活動指標	①啓発事業数【市以外が実施する事業も含む】（年間）				
数値目標	①10件				
SDGs	 				



## 基本方針2 ほんものを感じる魅せる観光





施策	<b>(1)聖地・古代を楽しむ 体験観光の充実</b> 各社寺等聖地での癒やし機会の提供などの「聖地体験」、古事記や日本書紀・万葉集に描かれた「古代体験」など、既存の観光資源を活かした体験型観光を充実します。
----	---

大事業	<b>①山の辺の道を核とした着地型観光の推進</b>
-----	----------------------------




事業名	<b>山の辺の道美化促進協議会</b>				
担当課	<b>観光まちづくり課</b>				
事業内容	ハイキングコースとして観光客から人気の高い山の辺の道は、「日本最古の道」と言われており、日本の原風景、古代から引き継がれてきた歴史、名所旧跡が数多く残ります。それらを後世に引き継ぐため、環境美化促進及びゴミ持ち帰り運動の啓発の取り組みとして「クリーンハイキング」「クリーンキャンペーン」等を実施する。また、来訪者の利便性向上のため、道標・案内板の設置・維持管理を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策	観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①会議開催回数（年間） ②関連事業数（年間）				
数値目標	① 3回 ② 1件				
SDGs	 				

事業名	山の辺の道地域戦略会議				
担当課	農林課・観光まちづくり課				
事業内容	奈良県との連携により、「なら歴史芸術文化村」及び「なら食と農の魅力創造国際大学校」との間に位置する、山の辺の道周辺農村地域等における賑わいの創出と地域活性化を図るため、食と農のツーリズムや農場や農村で楽しむ滞在型休暇スタイルの提案を中心とした地域戦略の策定から実践まで一貫して行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①会議開催回数（年間）				
数値目標	①4件				
SDGs	 				

事業名	万葉歌碑魅力発信事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>インバウンドの桜井市への誘客を図るため、山の辺の道沿いにある万葉歌碑について、英訳コンテンツを作成しインバウンド向けプロモーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド向けホームページ「YAMATO」内での情報発信及び現地へのQRコード設置</li> <li>・動画・パンフレット等の制作</li> <li>・旅行事業者等向け展示会への参加によるPR</li> </ul>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	検討	実施			
機会への対策	観光デジタル化の推進、記念事業との連携				
活動指標	①「YAMATO」ホームページ内万葉歌碑ページ閲覧回数（累計）				
数値目標	①1,000回				
SDGs	 				

事業名	<b>「癒やす観光」コンテンツ造成促進事業【再掲】</b> ◎既存の癒やす観光コンテンツの整理 ◎癒やす観光コンテンツ造成支援事業 ◎癒やす観光コンテンツ磨き上げ・販売促進支援事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	市内周遊を促す取り組みの一環で、市内各地の魅力を「癒やし」の観点から既存コンテンツの整理をし、強い集客につながるコンテンツを整理する。「癒やしの里“桜井”」に関連する観光コンテンツ充実のため、新規コンテンツ造成や既存コンテンツの高付加価値化に要する経費の一部を支援する。また、あわせてコンテンツの磨き上げや販売促進の支援を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	 既存コンテンツの整理	 コンテンツの造成・磨き上げ及び販売促進の支援			
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進、新たな観光トレンドへの対応、記念事業との連携				
活動指標	①新規造成・磨き上げコンテンツ数（累計） ②観光アプリ掲載コンテンツ数（累計）				
数値目標	① 20個 ② 100個				
SDGs	 				

大事業	②専門性の高い体験型観光コンテンツの開発
-----	----------------------



事業名	歴史文化に特化したコンテンツ実施支援（歴史・文化・考古学・自然等）				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	桜井市には、国のはじまりの地としての深い歴史や日本の文化そのものを表す観光地が多くあり、「見る」だけに留まらない「学び、体験する」観光を提供できるポテンシャルを有している。観光客がそのような桜井市の歴史や文化にふれることで桜井市の魅力を発見・再発見できるように、専門家を招いた講演会やテーマを限定したコンテンツの実施や開発検討の支援を行い、桜井ファンの増加に繋げる。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施 				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①支援件数（年間）				
数値目標	①3件				
SDGs	 				



施策	<p><b>(2) 新しい視点の観光体験の開発</b></p> <p>NAFIC等桜井市の有する基盤を有効に活用し、ガストロノミーツーリズム、アグリツーリズム、サイクルツーリズム、農泊に代表されるような、新しい視点の体験型観光の開発を推進します。</p>
----	---

大事業	<b>①新たな体験型観光コンテンツの検討・造成</b>
-----	-----------------------------




事業名	<b>NAFIC 周辺賑わいづくり協議会</b>				
担当課	<b>農林課</b>				
事業内容	協議会構成員による農業を中心とする地域活性化を目指し、奈良県等の関係機関と協力しながら、ウィズコロナ時代に適応した集客に向けた取り組みや情報発信を進める。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	会議開催回数（年間）				
数値目標	① 1回				
SDGs	   				



事業名	山田寺跡・纏向遺跡先端技術等魅力発信事業				
担当課	文化財課				
事業内容	市内遺跡では、史跡整備等により情報発信が図られているものの、平面的な遺構表示が中心で、建物などは復元されておらず当時の様子が現地で伝わらないという弱点がある。本事業においてはこの弱点を克服するため、AR/VR等の先端技術を用いて、復元建物や発掘調査時の臨場感を見学者に伝え、国内外からの来訪者の増加や文化財を活用した地域活性化の好循環の創出を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施 				
機会への対策	観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応、記念事業との連携				
活動指標	①コンテンツ数（遺跡ごと） ②コンテンツ数（ポイントごと）				
数値目標	①5個 ②10個				
SDGs					



### 基本方針3 自然の恵みをいただく味わう観光


施策	<p><b>(1) 食・土産物の充実、開発</b></p> <p>三輪そうめんに代表される市の特産品や農産品の高付加価値化・PR強化を行い、「心身の健康」をイメージする食・土産物の充実・開発を推進します。また、ふるさと納税の観光商品の充実と併せた、地域ブランドの強化を行います。</p>
----	---


大事業	<b>①特産品の開発及び特産品を活用した誘客促進</b>
-----	------------------------------

事業名	<b>桜井市地域ブランド認定推進事業</b>				
担当課	<b>観光まちづくり課</b>				
事業内容	桜井市にある桜井らしい個性と魅力を持った様々な素晴らしい産品（資源）のなかから、桜井市地域ブランド認定推進委員会が審査し、桜井市長が認定したものを「オールさくらい」の商品として取り扱い、総称として「大和さくらいブランド」と呼び、これら認定品の啓発、販促等を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
機会への対策	実施 				
活動指標	①公募に対する商品の応募数（累計） ②認定された商品数（累計）				
数値目標	①25件 ②40品				
SDGs	 				




事業名	商店街活性化事業				
担当課	商工振興課				
事業内容	近年の大型量販店の進出やインターネット販売の普及により、商店街の利用者が激減している中、市内商業の振興を図るため、商店街等が実施する商店街活性化事業に対し、商店街並びに地域の活性化につながるよう支援を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①地域関係者との会議回数（年間） ②イベント広報の回数（年間）				
数値目標	①3回 ②3回				
SDGs	 				



事業名	桜井市場〜ん支援事業（隔年実施）				
担当課	商工振興課				
事業内容	桜井市の魅力を発信し、地域のにぎわい創出と経済の活性化を図るため、市内の飲食店が選りすぐりのメニューを販売して市内外からの来訪者に提供する、桜井市商工会青年部が行うグルメイベント「桜井市場〜ん」の開催支援を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施		実施		実施
機会への対策					
活動指標	①会議回数（年間） ②開催時参加事業者数				
数値目標	①3回 ②45事業者				
SDGs	 				

事業名	桜井駅南地区の社会実験（駅前マルシェ）				
担当課	都市計画課				
事業内容	桜井駅南地区において市民が集い憩えるような滞在環境の向上、また桜井駅から本町通りへの回遊性の向上を図るため、駅前マルシェ等の社会実験を実施する。桜井駅南口広場改修にかかる施設配置、規模等の公共空間の整備に向けた諸元の確定及び回遊性の向上につながる公共空間や誘致店舗等の分析を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①社会実験（駅前マルシェ、ワークショップ等）実施件数（累計）				
数値目標	①5件				
SDGs					



事業名	伴走型小規模事業者支援推進事業				
担当課	商工振興課				
事業内容	桜井市商工会と共同で作成し、国の認定を受けた「認定経営発達支援計画」に基づく、市内の飲食・小売・小規模事業者における経営力の向上、利益の確保・持続的な発展、事業承継、需要開拓等、事業計画に沿った事業の持続的・継続的な発展を目的とした、小規模事業者に対する伴走型の支援を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①伴走型支援対象事業者数（年間）				
数値目標	①60事業者				
SDGs					

大事業	②農産品の開発補助・啓発
-----	--------------

事業名	<b>農産品の開発補助</b> ◎歴史と里山資源を活かした地域づくり事業				
担当課	農林課				
事業内容	農業を中心とした地域の取り組みを継続して支援し、6次産業化や農産品生産拡大対策を行うとともに、観光作物商品の開発・定着を図り、安定した収入が得られる魅力ある農業の環境づくりを目指す。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①取組支援件数（年間）				
数値目標	①4件				
SDGs	 				



事業名	ガストロノミーツーリズム創生事業				
担当課	農林課				
事業内容	「N A F I C 付属セミナーハウス」を活用し、市内農業者の営農意欲向上、市内農産物のPR、農業体験を通じた食育の推進を目指し、農と食をテーマとしたガストロノミーツーリズム商品開発、実施を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	検討	実施			
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①体験数（累計）				
数値目標	①4件				
SDGs	 				

大事業	③三輪そうめんの啓発
-----	------------

事業名	三輪そうめん啓発事業				
担当課	商工振興課				
事業内容	三輪そうめんのブランド力とそうめん発祥の地である桜井市の知名度向上を図るため、「三輪そうめんPR動画」や「三輪にゅうめんマップ」等を活用した国内外への情報発信に努めるとともに、情報発信の成果による来訪者の増加及びそれに伴う三輪そうめんの販売促進や販売拡大に寄与することを目指す。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	地域関係事業者との会議回数（年間）				
数値目標	①4回				
SDGs	 				








大事業	④ふるさと納税の推進
-----	------------



事業名	ふるさと寄附金事業				
担当課	税務課				
事業内容	ふるさと納税は、返礼品を通じ、市の特産品を全国に発信できる、有意義な制度である。桜井市の代表的な返礼品は三輪そうめんであり、大変多くの寄附者から選ばれている。さらに果物・野菜・肉・米・酒・加工品等の魅力ある返礼品づくりについて、桜井のいいもの、厳選されたこだわりの逸品を形にし、ブランディング化する取り組みを、桜井市商工会、桜井まちづくり株式会社と共に行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①メルマガ登録数（累計） ②レビュー件数（累計）				
数値目標	①900人 ②600件				
SDGs	 				

施策	<p><b>(2) 滞在型周遊観光の推進</b></p> <p>山の辺の道などの古道を「癒やしのまほろば巡礼道」とし、道でつながる地域と連携した滞在型周遊観光を推進するとともに、滞在のための既存施設の充実・整備と新規宿泊施設の誘致、ワーケーションの推進、公共交通の二次交通としての活用を推進します。</p>
----	---


大事業	<b>①滞在型観光の推進</b>
-----	------------------


事業名	<b>ホテル及び旅館の誘致事業</b>				
担当課	<b>商工振興課</b>				
事業内容	<p>ホテル・旅館の新設及び増設を促進するための奨励金制度や既存宿泊事業者への運転・設備資金の融資に対する支援制度を設けることにより、通過型観光から滞在型観光への転換を図るとともに、賑わいの創出と雇用機会の拡大につなげることで、地域経済の活性化と市民生活の向上を目指す。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策					
活動指標	①宿泊事業者との接触件数（年間）				
数値目標	① 1件				
SDGs	 				


事業名	テレワーク等推進事業				
担当課	商工振興課				
事業内容	桜井駅周辺・初瀬地区において、テレワークスペースの運営に対する支援を行うことで、コロナ渦で高まった企業のリモートワーク需要に対応するとともに、本市が有する豊富な歴史・文化資産等の観光資源を活用することにより、今後のウィズコロナ時代の新しい働き方として注目されているワーケーション目的の来訪者の取り込みに繋げていく。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施			民間事業者による運営	
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進、新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①支援件数（累計）				
数値目標	①6回				
SDGs	 				


事業名	市内宿泊事業者との連携事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	桜井市に限らず奈良県観光全体の傾向として、滞在時間が非常に短く、いわゆる「通過型観光」の割合が非常に高い。このことから、「滞在型観光」の推進を目的とし、市内の旅館・ホテル・民泊事業者と連携する。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進、新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①連携事業数（年間）				
数値目標	①1件				
SDGs	 				



大事業	②周遊観光の推進
-----	----------

事業名	地域公共交通の二次交通としての活用				
担当課	行政経営課				
事業内容	桜井市の観光施設は市内各所に点在しており、市内を周遊するためには二次交通手段が必須となる。二次交通の手段の一つとして、市の運行するコミュニティバス及び奈良交通の運行する路線バスなどの地域公共交通を活用していただけるよう、情報を整理して発信する。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①利用促進活動回数（累計）				
数値目標	①2回				
SDGs					

事業名	サイクルツーリズム推進事業				
担当課	観光まちづくり課・土木課				
事業内容	近年、自転車に乗ることを主な目的としたツーリングや、二次交通手段の一つとしてスポットで自転車を利用するなど、自転車を利用する旅行「サイクルツーリズム」が増加している。このような状況に対応すべく、奈良県の事業との連携を行う等、サイクリングを楽しめる受け入れ環境の整備及び情報発信の充実を図る。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①サイクルラック設置件数（累計）				
数値目標	15件				
SDGs					


事業名	二次交通の検討				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	桜井市には私鉄やJR路線、路線バスなど様々な公共交通手段を有しているものの、市域が広く観光施設が点在しているため公共交通のみで周遊観光を行うことが難しい。そこで、観光客が市内周遊しやすくなるように、観光タクシーでの利用促進や電動レンタサイクル導入に向けた検討を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施			検討結果・状況を踏まえて判断	
機会への対策	観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①周遊方法検討件数（累計）				
数値目標	①2件				
SDGs					

事業名	古道紀行発行				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	市内のJRの駅を基点とした周遊ルートを整備し、パンフレット等で観光客へ快適な周遊観光の案内を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①パンフレット配布数（年間）				
数値目標	①25,000部				
SDGs					

事業名	まほろばセンター運営事業				
担当課	商工振興課				
事業内容	地域交流促進・多世代交流促進の拠点となる桜井市まほろばセンターにおいて、「ひみっこぱーく」の運営や貸館事業を実施することにより、桜井駅周辺の賑わい創出に寄与するとともに、市外からの来訪者に向けて、地域の観光情報を提供することで、市内の周遊観光への誘導を図る。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①貸館件数（年間） ②講座数（年間開講数）				
数値目標	①750件 ②220回				
SDGs	 				


施策	<p><b>(3) 観光まちづくり拠点の整備</b></p> <p>桜井駅前、大神神社、長谷寺等の周辺のまちづくりを活性化し、観光まちづくり拠点としての整備を行います。</p>
----	--

大事業	①桜井駅周辺地区のまちづくり
-----	----------------


事業名	桜井駅周辺地区まちづくり事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	「桜井駅周辺地区まちづくり基本計画」に基づき、都市再生推進法人支援等、各事業を進め、「“桜井らしさ”と“木”を活かし、地域の誇りを育むワンランク上の歴史・資源・ライフスタイルにぎわいあふれる住み良いまち さくらい」の実現を目指す。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①地元等との会議開催回数（年間）				
数値目標	①2回				
SDGs					



大事業	②長谷寺門前町周辺地区のまちづくり
-----	-------------------

事業名	長谷寺門前町周辺地区まちづくり事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	「桜井市長谷寺門前町周辺地区 まちづくり基本計画」に基づき、サイン整備や賑わい創出事業等、各事業を進め、「訪れて楽しくなるまちなみ・歩きたくなる参道づくり」の実現を目指す。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①地元等との会議開催回数（年間）				
数値目標	①7回				
SDGs					



大事業	③大神神社参道周辺地区のまちづくり
-----	-------------------

事業名	大神神社参道周辺地区まちづくり事業				
担当課	商工振興課				
事業内容	「桜井市大神神社参道周辺地区まちづくり基本計画」に基づき、参道整備や賑わい創出事業等の各事業を実施することで、まちづくりの目標である「大神神社の上品な参道づくりと三輪のまちの賑わい創出」の実現を目指す。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①地域・関係機関との会議等開催回数（年間） ②地域への広報等による報告回数（年間）				
数値目標	① 3回 ② 3回				
SDGs					

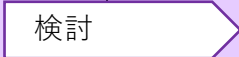


## 基本方針4 誰もが心地よく楽しめる安全・安心な観光

施策	<p><b>(1) 感染症対策等の衛生環境の徹底、緊急時の救急体制の充実</b></p> <p>観光事業者、地域、観光客がともに安全な観光対応（小グループ化、非接触化等）を図るとともに、三密の回避、検温・消毒の徹底の啓発を行います。</p> <p>また、地震、台風等の自然災害や交通事故等の対応や予防、災害時の対応等の準備を行います。</p>
----	---

大事業	<b>①感染症対策等の衛生環境の徹底</b>
-----	------------------------




事業名	<b>感染症対策済み（備品等配布）の施設に関する情報発信</b>				
担当課	<b>観光まちづくり課</b>				
事業内容	<p>現在、観光ニーズの傾向として、観光地そのものの魅力はもとより、いかに現地の観光施設が感染症対策を行っているかといった「安全・安心の情報」が求められていることから、奈良県の感染防止対策施設認証制度を受けている市内飲食・宿泊施設やタクシー事業者、路線バス事業者等の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策をとりまとめ、情報発信することで、安全・安心な観光地としてPRし、観光客数回復を図る。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進				
活動指標	①情報発信媒体件数（年間）				
数値目標	①5件				
SDGs					



大事業	②緊急時の救急体制の充実
-----	--------------


事業名	観光関係事業者を対象とした桜井市ハザードマップの情報周知及び防災研修の実施				
担当課	観光まちづくり課・危機管理課				
事業内容	観光地において地震や台風等の災害が発生した場合、観光客が安全に避難できるような情報提供・案内が必要になってくる。このような状況に対応すべく、桜井市で作成しているハザードマップ（日本語・英語）の情報を市内観光関連事業者に周知するとともに災害時の対応についての防災研修を行う。また、観光周遊促進アプリを活用した観光客への避難情報等の提供を検討する。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策	観光デジタル化の推進				
活動指標	①情報伝達手段の確保件数（累計）				
数値目標	①1件				
SDGs					


施策	<p><b>(2) 多様性を受け入れる環境整備</b></p> <p>交通、移動におけるバリアフリー化やサイン等の整備とデザインの統一化などのハード面での整備、アフターコロナでのインバウンドを受け入れる情報発信等のソフト面での環境整備を行います。</p>
----	---

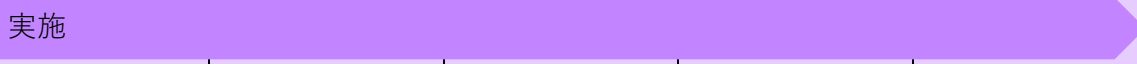

大事業	①利便性向上のための環境整備
-----	----------------

事業名	東海自然歩道（山の辺の道）整備事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>市内有数のハイキングコースである山の辺の道は、日本の原風景が多く残る古道であり、自然そのままの風景を楽しめる一方、雨風による山道の崩壊や案内サインの不足など、安全上の課題も残っていることから、来訪者の利便性向上を目的とし、危険箇所の整備や案内サインの設置等を行う。また、令和5年度以降も整備計画を作成し、計画的に整備していく。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">           検討結果・状況を踏まえて判断         </div>		
機会への対策					
活動指標	①整備件数（累計）				
数値目標	①2件				
SDGs					

事業名	観光トイレ整備事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	観光客の利便性向上を目的とし、市内観光トイレの整備を行う。また、経年劣化による器具取替等の施設維持管理を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進				
活動指標	①トイレ修繕回数（累計）				
数値目標	①30回				
SDGs	 				



事業名	街なみ環境整備事業				
担当課	都市計画課				
事業内容	景観計画における重点景観形成区域である三輪・大神神社参道地区、桜井駅周辺・本町通地区、初瀬地区において、ゆとりとうるおいある住宅地区を形成し、本市における歴史的景観資産の維持、向上を図るため、景観ガイドラインに沿って、建築物等の修景を行う事業に対して支援する。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①修景事業実施件数（年間）				
数値目標	①2件				
SDGs					

事業名	修景支援事業				
担当課	都市計画課				
事業内容	景観計画における重点景観形成区域である三輪・大神神社参道地区、桜井駅周辺・本町通地区、初瀬地区において、より良い景観を形成するために、自動販売機や室外機等の小規模な工作物の修景を行う事業に対して支援する。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		実施			
機会への対策					
活動指標	①修景事業実施件数（年間）				
数値目標	①20件				
SDGs					


事業名	<b>道路整備事業</b> ※多武峰周辺の県道整備は県、付随する市道は土木課。白河バイパス、桜井市バリアフリー基本構想に基づく駅前バリアフリーを含む)				
担当課	<b>土木課</b>				
事業内容	初瀬地域及び多武峰地域については、長谷寺や談山神社等の集客力のある観光名所が存在するが、狭隘区間が長く続く道路であり渋滞等の発生で利便性が悪いことから、観光拠点へのアクセス向上のため、初瀬地域の白河バイパス整備事業等、奈良県と連携し道路整備を実施していく。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施 				
機会への対策					
活動指標	①関連事業数				
数値目標	①1件				
SDGs					



大事業	②外国人観光客に対応した環境の整備
-----	-------------------

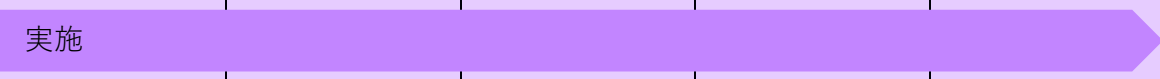

事業名	インバウンド関連事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	令和元年度に策定した「桜井市インバウンド誘客戦略」に基づき、インバウンド観光客のターゲティング、市内コンテンツの選択と集中を行うことで、インバウンド観光客の増加を図る。ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により大幅なインバウンド観光客の減少、またニーズや旅行形態の変化に対応するため、誘客戦略の改訂や受入環境の整備を実施する。また、既設インバウンド向けホームページ「YAMATO」の改修を行い、情報発信の強化を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	検討	実施			
機会への対策	観光デジタル化の推進、記念事業との連携				
活動指標	①市内事業者のインバウンド受入体制整備達成件数（累計） ②外国人富裕層に対応したプロダクト造成件数（累計）				
数値目標	①20件 ②6件				
SDGs	 				

大事業	③快適に観光を楽しむことができる観光案内
-----	----------------------



事業名	道標・案内板整備事業				
担当課	観光まちづくり課・商工振興課				
事業内容	大神神社や長谷寺といった代表的な観光名所周辺や桜井駅前から山の辺の道等、観光客が多く訪れる場所に道標・案内板を設置し、観光客の利便性を向上する。又、既存案内板等については、情報の更新等を順次実施していく。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	記念事業との連携				
活動指標	①案内板新設件数（累計）				
数値目標	①10件				
SDGs					

施策	<p><b>(3) 広域観光</b></p> <p>近隣の自治体との連携により、地域全体を巡る観光振興が進むような広域観光を推進します。</p>
----	--

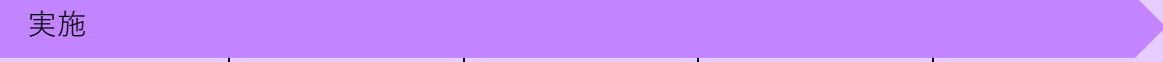

大事業	<b>①世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会事業</b>
-----	------------------------------

事業名	<b>世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会事業</b>				
担当課	<b>観光まちづくり課・文化財課</b>				
事業内容	<p>奈良県・橿原市・明日香村と共に世界遺産「飛鳥・藤原」の登録を目指し、講演会の開催やイベント等での啓発物品の配布等の情報発信、登録推進活動を実施する。登録推進の一環として、令和3年度に「桜井市特別史跡山田寺保存活用計画」を策定した。今後、登録に向けて構成資産の包括的保存活用計画、世界遺産登録推薦書の作成を行っていく。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策	記念事業との連携				
活動指標	①会議開催回数（累計）				
数値目標	①12回				
SDGs					

大事業	②市外団体との各種連携事業
-----	---------------

事業名	市外団体との広域連携事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>国内外の観光客の行動範囲の拡大や旅行ニーズの多様化、旅行形態の変化に応じて、広域的に観光地を周遊できるよう、市外団体との広域連携を進め、市内の豊富な観光資源を広域的にネットワーク化し、広域観光周遊ルートの構築や観光プロモーション等を行う。また、観光エリア間の相互連携により、観光資源を結び付けることで、個々の観光資源の魅力を相乗・増強させ、訴求力を強化し、周遊促進、滞在時間の増加につなげる。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進、観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①会議開催回数（年間） ②連携事業実施日数（年間）				
数値目標	①30回 ②25日				
SDGs					

大事業	③奈良県との観光連携事業
-----	--------------



事業名	奈良県との観光連携事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>奈良県の「ならの観光力向上課」「観光プロモーション課」と連携し、魅力発信事業に取り組む。具体的には、なら記紀・万葉プロジェクト、なら歴史芸術文化村事業など。また、令和3年度に奈良県が策定した「奈良県観光総合戦略」に基づき発足した、山の辺の道エリアの観光による活性化を目的とした「Yamanobe Project」と令和3年度から連携しており、取り組みを進めていく。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応、記念事業との連携				
活動指標	①会議開催回数（年間） ②連携事業数（年間）				
数値目標	①10回 ②3件				
SDGs					

施策	<p><b>(4) 観光推進体制の整備・充実</b></p> <p>官民連携、広域連携による効果的な展開、観光財源確保を進めるとともに、観光協会等の観光組織を強化します。また、観光ガイドを支援します。</p>
----	--



大事業	① (一社) 桜井市観光協会との連携
-----	--------------------

事業名	(一社) 桜井市観光協会との連携事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>SNSやホームページ（Webサイト）等を活用した情報発信や市内外でのイベントの開催、市内観光関連事業者をはじめとした受入体制の強化等を一般社団法人桜井市観光協会と連携して実施する。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①協会との情報共有会議開催回数（年間） ②協会Webサイト閲覧者数（年間）				
数値目標	①12回 ②200,000人				
SDGs					

大事業	②桜井市観光ボランティアガイドの会との連携
-----	-----------------------


事業名	桜井市観光ボランティアガイドの会との連携事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>桜井市には古くからある社寺や遺跡など、日本の歴史に深く関わる専門的な知識を要する観光地が多く存在する。観光客により深く桜井市を理解し、楽しんでもらうため、観光ガイドをボランティアで行う桜井市観光ボランティアガイドの会と連携する。観光客の快適な観光を推進するため、ガイドの資質向上を図り、観光客の受入体制の強化を図る。また、ウィズコロナに対応したガイドの手法を検討し、安定したサービスを観光客へ提供する。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進				
活動指標	①観光ボランティアガイド新規登録者数（累計） ②観光ボランティアガイド育成講座回数（年間）				
数値目標	①15人 ②12回				
SDGs	 				

大事業	③桜井観光案内所の運営
-----	-------------

事業名	桜井観光案内所の運営事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>(一社) 桜井市観光協会・桜井市商工会・桜井木材協同組合と共に来訪者への観光案内機能充実を目的とし、観光案内の窓口である近鉄桜井駅構内の桜井観光案内所の運営を行う。また、ウィズコロナに対応した観光案内の手法を検討し、安定したサービスを観光客へ提供する。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進				
活動指標	①案内対応件数(年間) ②パンフレット配布数(年間)				
数値目標	①10,000件 ②10,000冊				
SDGs					





大事業	④初瀬観光センターの運営
-----	--------------



事業名	初瀬観光センターの運営事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	初瀬地域来訪者への観光案内機能充実を目的とし、初瀬地域の窓口である初瀬観光センターの運営を行う。また、施設内に設置している「地場産品紹介コーナー」の管理を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①開所日数（年間）				
数値目標	①260日				
SDGs					



## 基本方針5 繋がる観光（暮らしの魅力が実感できる）

施策	<p><b>（１）桜井ファン開拓</b></p> <p>地域資源を活かした定期的な活動など来訪のきっかけづくりを行うとともに、様々なメディアの活用や観光DXの推進を行うことにより、桜井ファンの開拓を図ります。</p>
----	--




大事業	<b>①桜井ファン開拓のための情報発信</b>
-----	-------------------------

事業名	市内文化財の情報発信事業				
担当課	観光まちづくり課・文化財課				
事業内容	市内文化財の発掘状況や研究結果などの情報発信を行うことで、桜井ファンの開拓を図る。具体的には、東京都よみうりホールで開催する「東京フォーラム」、田原本町共催のシンポジウム、纏向考古学通信の発行等。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
機会への対策	実施				
活動指標	①研究会の開催（年間） ②定期刊行物の発行数（年間）				
数値目標	① 2回 ② 3冊				
SDGs	 				


事業名	桜井市制70周年記念事業				
担当課	行政経営課				
事業内容	市民とともに節目の年を祝うため、市制70周年を記念した式典を開催するとともに、各種冠事業を開催する。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			検討		実施
機会への対策	記念事業との連携				
活動指標	①冠事業開催数（記念式典も含む）				
数値目標	①2回				
SDGs	 				

事業名	歴史文化に特化したコンテンツ実施支援（歴史・文化・考古学・自然等）【再掲】				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	桜井市には、国のはじまりの地としての深い歴史や日本の文化そのものを表す観光地が多くあり、「見る」だけに留まらない「学び、体験する」観光を提供できるポテンシャルを有している。観光客がそのような桜井市の歴史や文化にふれることで桜井市の魅力を発見・再発見できるように、専門家を招いた講演会やテーマを限定したコンテンツの実施や開発検討の支援を行い、桜井ファンの増加に繋げる。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①支援件数（年間）				
数値目標	①3件				
SDGs	 				

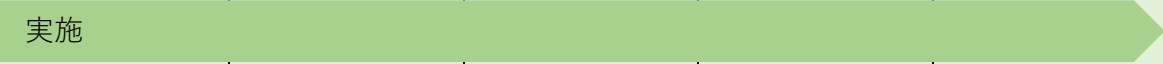



大事業	②桜井市マスコットキャラクター「ひみこちゃん」の活用
-----	----------------------------



事業名	桜井市マスコットキャラクター「ひみこちゃん」を活用した情報発信事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>卑弥呼をモチーフにした桜井市マスコットキャラクター「ひみこちゃん」を活用し、着ぐるみの貸出及びイラスト使用の推進、定期的な観光情報発信「ひみこちゃん通信」の発行を行い、桜井ファンの開拓を図る。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策					
活動指標	①イラスト使用許可数（年間） ②着ぐるみ貸出数（年間）				
数値目標	①15件 ②15回				
SDGs	 				


大事業	③マスメディアを活用した効果的な情報発信
-----	----------------------

事業名	大和さくらいフィルムコミッション事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	新聞・テレビといったマスメディアとの連携強化により、効果的に観光イベント情報を発信する。また、桜井市と桜井市商工会で組織する「大和さくらいフィルムコミッション」において、地域活性化が期待できる映像作品のロケーション撮影を誘致するため、撮影条件に適した場所の情報提供等を行い、円滑な撮影を支援する。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①支援・協力件数（年間）				
数値目標	①5件				
SDGs					

大事業	④観光DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
-----	----------------------------




事業名	ホームページ・SNSを通じた観光情報発信事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>一般社団法人桜井市観光協会のホームページ（Webサイト）に観光行事や季節のみどころ等の市内観光情報を一元化し、効果的な情報発信を図る。さらに、EC（インターネットサイトでの商品取引）サイト等を新設し、機能を充実させるとともに観光DXの推進に向けて、今後の観光マーケティングやプロモーションへの活用できる利用者の属性や閲覧履歴等のデータ収集を行う。</p> <p>また、近年、タビマエの観光情報の収集手段として、既存の紙媒体メディア以上にSNSを活用する人が増えており、観光施策においてSNSの活用が非常に重要視されていることから、様々なSNSメディアにより桜井市の観光情報を継続的に発信し、情報発信力の強化を図る。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
					
機会への対策	ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光推進、観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①協会SNS（Instagram・twitter・facebook）更新回数（年間） ②協会ホームページ閲覧者数（年間）				
数値目標	①550回 ②200千人				
SDGs	  				

事業名	SNSを活用した観光アンバサダーによる魅力発信				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	SNSや観光アプリ等を活用して着地から発地に向けての効果的な情報発信や誘客促進を促すため、桜井市の魅力を積極的に発信するSNS観光アンバサダーによる情報発信に取り組む。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		検討	実施		
機会への対策	観光デジタル化の推進、新たな観光トレンドへの対応				
活動指標	①アンバサダーによるSNS投稿数（累計数）				
数値目標	①300件				
SDGs	 				




事業名	イベントカレンダーによる情報発信				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	旅マエや旅ナカにおける効率的な情報発信及び利便性の向上を図るため、Webサイトや観光アプリ等において市内で実施されるイベント等の開催情報を集約したイベントカレンダーを掲載し、イベント等のPR・情報発信を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		実施			
機会への対策	観光デジタル化の推進				
活動指標	①掲載件数（年間）				
数値目標	①80件				
SDGs					




施策	<p><b>(2) 人材育成</b></p> <p>シビックプライドや郷土愛を育み、暮らすような観光を実践できる環境づくりを推進する人材を育成します。</p>
----	---

大事業	<b>①観光人材の育成</b>
-----	-----------------

事業名	<b>地域観光事業支援事業</b>				
担当課	<b>観光まちづくり課</b>				
事業内容	観光振興と地域発展に資する取り組みの拡充を目的とし、地域団体が行う観光資源を活かした地域で継続的に実施されている観光事業や新たな事業の掘り起こし、情報発信等の取り組みに対し、地域に密着した支援・協力を行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
機会への対策	実施 				
活動指標	①支援事業数（年間）				
数値目標	①4件				
SDGs	 				



事業名	桜井市創業支援等事業計画に基づく創業者支援事業				
担当課	商工振興課				
事業内容	創業を目指す方を対象に、桜井市商工会や市内金融機関などの支援機関と連携し、創業者が相談しやすい支援体制を構築する。桜井市にワンストップ窓口を設置し、ビジネスモデルの構築や資金調達など創業に必要な要素に応じて、各支援機関の強みを生かした適切な創業支援の提供を創業から創業後まで継続して行う。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①講習等参加者数（年間）				
数値目標	①65人				
SDGs	  				

事業名	高度なガイドの育成				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	<p>“モノ”から“コト”を重視する世界的な流れの中で、観光ニーズについても買い物中心の“消費型観光”から、日本の文化を体感する“体験型観光”へと移り変っている。このことから、観光客の満足度向上及びリピーターの確保を図るため、より専門的な知識を有するガイドや、多言語対応できるガイド等を育成することを検討する。</p>				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           検討結果・状況を 踏まえて判断         </div>	
機会への対策	新たな観光トレンドへの対応、記念事業との連携				
活動指標	①有料ガイドの登録者数（累計）				
数値目標	①1人				
SDGs	 				

大事業	②観光関連団体及び事業者との連携強化
-----	--------------------

事業名	おもてなし仕組みづくり協議会事業				
担当課	観光まちづくり課				
事業内容	官民連携の取り組みとして、桜井市を訪れる宿泊客や観光客などに対し、「桜井らしい」おもてなしの仕組みづくり、受け入れ環境の整備等、サービスの向上、観光メニューづくりにも積極的に取り組むことで、桜井市の更なる魅力を向上し、観光客の満足度向上、滞在型・宿泊型の観光地として市の活性化を図る。				
各年度の取組状況	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	実施				
機会への対策					
活動指標	①事業数（累計）				
数値目標	①5事業				
SDGs	